

1. 当該診療科の特徴	<p>専門領域として糖尿病、内分泌疾患、腎臓疾患、リウマチ・膠原病を担当する。 各領域の専門医が垣根なく診療しており、炎症・代謝・内分泌・腎・血管病態をシステムとして診ることができる。</p>													
2. プログラムの特徴	<p>糖尿病、内分泌疾患、腎臓疾患、膠原病・リウマチ疾患の診療、救急診療を介して内科領域を包括的に学ぶ。 Common diseaseから希少疾患を経験する。 救急医療、血液浄化療法(CHDF、血漿交換など)に関わる。 3年目からは専門性を重視した診療へシフトすることも可能。</p>													
3. 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ○的確な病歴聴取、診察をして、適切なカルテ記載ができる。 ○自分で診断し治療方針を決定できる。 ○診断法を理解し、自分で診断計画をたて実施できる。 ○治療法を理解し、自分で実施できる。 ○重症患者の管理ができる。 ○救命処置を含めた救急医療のプライマリケアができる。 ○糖尿病、慢性腎臓病の患者指導ができる(教育入院、糖尿病教室、患者会への参加)。 ○患者の社会的背景を理解し、適切な社会制度を利用できる。 ○良好な医師患者(家族を含む)関係をつくることができる。 ○適切な資料収集、上級医へのコンサルト、他科へのコンサルトができる。 ○他科からのコンサルトに答えることができる。 ○チーム医療を理解し、リーダーとして実践できる ○研修医の指導、コメディカル教育ができる。 ○臨床に関する学会発表を行い論文化する。 													
4. 研修期間	原則3年													
5. 取得が可能な資格等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">学会名</th> <th style="text-align: center;">取得可能資格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">日本内科学会</td> <td style="text-align: center;">日本内科学会認定内科医、総合内科専門医</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">日本糖尿病学会</td> <td style="text-align: center;">糖尿病学会専門医</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">日本内分泌学会</td> <td style="text-align: center;">内分泌学会専門医</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">日本腎臓学会</td> <td style="text-align: center;">腎臓学会専門医</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">リウマチ学会</td> <td style="text-align: center;">リウマチ学会専門医</td> </tr> </tbody> </table>	学会名	取得可能資格	日本内科学会	日本内科学会認定内科医、総合内科専門医	日本糖尿病学会	糖尿病学会専門医	日本内分泌学会	内分泌学会専門医	日本腎臓学会	腎臓学会専門医	リウマチ学会	リウマチ学会専門医	
学会名	取得可能資格													
日本内科学会	日本内科学会認定内科医、総合内科専門医													
日本糖尿病学会	糖尿病学会専門医													
日本内分泌学会	内分泌学会専門医													
日本腎臓学会	腎臓学会専門医													
リウマチ学会	リウマチ学会専門医													
6. 指導体制	<p>病棟(入院患者)、一般内科新患外来、救命救急センター日当直を主なフィールドとする。 指導医6名 糖尿病(3名)、内分泌(2名)、腎臓病(2名)、リウマチ(1名)専門医・指導医。 透析医学会専門医(2名)。 病棟回診(1回/週)、症例検討会(1回/週)。</p>													
7. その他	<p>後期研修終了後は、大学医局への入局、サブスペシャリティー専門医の修得などを積極的に支援します。</p>													